



経済と豊かさ

令和6年11月22日

黒田インターナショナル コンサルティング LLC

黒田 毅

経済は豊かさを創造する。その基盤は金融資本力にあり、企業の利益性は、金融と共に為替の変動を与え、経済の構築を与える。

これらがグローバリゼーションにおける世界を与え、富という現実が豊かさを与える。これらは競争原理というルールと基盤における現実の形成である。

これらがビジネスは戦いであるという真実を現実を与える。これがビジネスの興隆と高揚である。

豊かさは、資本力における社会の向上であり、これらは国家の支出と政策と共に、生活を与えるものである。

これらは企業と経済がそれを追い、生活力という富における現実を構築する。これらが資本主義における自由経済と世界の現実である。

これらにおいて経済政策は、政治における大きな論点となる。しかし資本力という世界の背後の現実はさらなる富の創出を行うのである。

これらに対して、正しい金融インフラの構築とルールの作成、経済における正しいルールとい育成は、経済と生活における秩序の回復を与え、投資に偏る現実から、労働と経済の正しい形成を可能とできるのである。

これらは、自由主義と統制社会の明らかな矛盾である。それにおいて正しいルールの形成が正しい世界の秩序を与えることは真実なのである。

これらはグローバリゼーションにおける新しい経済の枠組みを提案できるものである。これらは競争と格差という現実がグローバリズムにおいて固定化されることに対して、新社会主義的な発想における新しい社会と生活経済の枠組みを提案できるものである。

これらは自由主義と競争という格差社会への警鐘である。